

秋竹小

メル・ポケ通信 2019年2月号

(メルヘン ポケット)



2月12日(火)に、全学年を対象に、今年度9回目の“読み聞かせ”を行いました。
今回読んだ本をご紹介します。

- 1年生** ★『このママにきーめた!』 のぶみ (作・絵) サンマーク
おなかのなかの記憶がある子どもたちの話を描いた絵本です。雲の上からママをえらんで
子どもが生まれてよろこばそうとするのが子どもたちです。
- ★『おともだちだべちゃった』 ハイディ・マッキノン (作) 潮出版社
なかにし ちかこ (訳)
たった一人のたいせつなお友達をなぜかたべちゃった…。もうお友達ができなかったら
どうしよう?といろいろお友達になろうと声をかけますができません。できなかったら
どうしよう…と思ってるとお友達ができました。よかったと思ったのですが…。
- ★『はみがきさん』 せな けいこ (作・絵) ポプラ社
朝おきたらはみがきしましょう。とはみがきさんが来ました。はみがきさんシュッ
シュッシュとみがきます。リズムで楽しくはみがきする絵本です。
- 2年生** ★『ふわふわくもパン』 ペク・ヒナ (文・絵) キム・ヒャンス (写真) 小学館
星 あキラ、キム・ヨンジョン (共訳)
ある雨のあさ、わたしはおとうととそとでくもをひろった。もってかえるとママが
くもでパンを作ってくれた。
- ★『ぽんたのじどうはんばいき』 加藤ますみ (作) 水野二郎 (絵) ひさかたチャイルド
ぽんたはきのう、ふもとのむらでとてもふしぎなものをみました。“じどうはんばいき”
です。おかねをいれると、いろいろなものがでてくるんです。ぽんたはすっかりきにいって
しまいました。
- ★『ひよこのピケキョ』 ジャニーン・ブライアン (作) ダニー・スネル (絵)
ひこ田中 (訳) 東京書店
四わのひよこがうまれました。一わめのひよこが「ピョ!」二わめのひよこが「ピョ!」
三わめのひよこが「ピョ!」でも、四わめのひよこは「ピケキョ!」「ピーちゃん。
ピョっていってごらん」だけど、ピーちゃんはちいさなこえで「ピケキョ」
- 3年生** ★『ウミガメものがたり』 鈴木まもる (作・絵) 童心社
神秘的なウミガメの生態をひとコマひとコマ丁寧に読み進めて行く絵本。ウミガメが
どのように産卵し、子ガメが海に出て、また生まれた海に戻るまでを描いた絵本です。
- ★『わたしのいもうと』 松谷みよ子 (作) 味戸ケイコ (絵) 偕成社
いじめについて考えさせる絵本です。
- 4年生** ★『鬼といりまめ』 谷 真介 (作・絵) 佼成出版社
節分というのは季節の変わりの節目のことです。節分のみめまきのはじまりのおはなし
です。
- ★『にじいろのはな』 マイケル・グレイニエツ (作・絵) ポプラ社
まだ雪が残る野原に虹色の花がさきました。虹色の花はやっとおひさまにあえてうれしく
てたまりません。この幸せな気持ちをみんなにもわけてあげたいと思いました。

5年生 ★『ゆきがくれたおくりもの』 リチャード・カーティス（作）レベッカ・コップ（絵）
ふしみ みさを（訳） ポプラ社

ロンドンのある雪の日、休校になった学校にはだれもやってきません。でも、ダニー・ヒギンズはいつも通り学校にやってきてしまいました。そしてそこには「学校で一番厳しい」トラッパー先生が…。ダニーはしぶしぶ教室に入り、トラッパー先生の授業を受けることになりました。でも椅子に座ってもキョロキョロソワソワ。しまいには居眠りを始める始末。だってダニーは「学校で一番勉強ができない」生徒だったのです。

★『かえりみち』 あまんきみこ（作） 西巻芽子（絵） 童心社

「あ〜ん。おうちがわかんないよう。」のはらのまんなかでおんなのこがないています。そこへこぎつねがやってきていっしょにおうちを探します。おんなのこは無事におうちに帰りつきますが、こんどはかえりみちにこぎつねがまいごになってしまいます。こぎつねの次はこぐま次はうさぎ。そして最後は…？

6年生 ★『ありがとう、フォルカーせんせい』 パトリシア・ポラッコ （作・絵）
香咲弥須子（訳） 岩崎書店

本を読むことをとつてもたのしみにしていたトリシャ。でもトリシャにとって、字も数字もくねくねした形にしかみえません。クラスの友達が読めないことを笑うのでトリシャの苦しみはますます。5年生になった時、新しい先生が来ました。先生はトリシャの絵がすばらしいのに気づきました。そして、トリシャのひみつ字が読めないことを知ったとき、先生は特別な練習を始めたのです。作者の自伝的なおはなしです。

